

効果あるぞ少人数学級！

早期導入を！

さいたま市教組情宣

30人学級 署名にご協力を！！

全国で、すでに四十五の道府県が実施している少人数学級。署名の力もあり、さいたま市も導入の検討を教育長が発言。「三〇人学級の実現」が現実的になっています。

子どもたちにゆきとどいた教育を進めるために、全国ではすでに四十五道府県の公立学校で少人数学級が実施されています。こうい

う動きに対応し、文部科学省も今年の五月に本格的な検討を始めました。しかし、八月に出された中間報告では、

残念ながら国の少人数学級編成を見送り、編成権を区・市町村・学校に移す方向を打ち出しました。これによって、学級編成権は市や学校の実態に即して行

われることになり、三十人学級実現の可能性もより現実的になってきたともいえます。このチャンスに多くの教職員・保護者・市民の要求署名を議会に届けたいと思います。ご協力をお願いします。

市も効果認め 導入の検討

さいたま市では、質問で答弁に立った教育長が、少人数学級の効果を認め、導入の検討を答弁しています。対

全国の自治体の動き

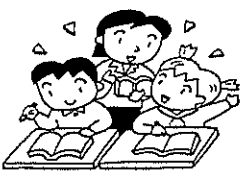
- ・東京、香川を除く全国45道府県で実施
- ・山形県、小1～6年と中1で33人以下学級。
- ・福島県、小中すべてで33人以下学級実施。
- ・長野県、小1～6で30人規模学級実施。
- ・行田市、教育特区で小1，2中1で30人学級。
- ・志木市、小1，2で25人中1で30人程度学級。
- ・上尾市、小1，2と中1で30人程度学級。

世界の学級編成基準

文部科学省ホームページより

日本	40人
アメリカ	25～32人
イギリス	30人
ドイツ	24人
フィンランド	24人以下

日本は、OECD加盟国の平均より小学校で7人程度多く、中学校で10人程度多い。



象学年やその時期については検討されることになっていきます。

学力面・生活面に効果

文部科学省調査二〇〇五年四月

今年四月に文部科学省から発表された少人数学級実施調査では、「児童生徒の学力が向上した」「授業でつまずく児童生徒が減った」が小学校九十九%、中学校で九十四%。また、生活面では、少人数学級は「不登校やいじめが減少した」「基本的な生活習慣が身についた」について、少人数指導に比較して二倍から三倍の高い効果があるという結果でした。

現は全国の学校・教職員に大きな期待をされていることが二〇〇五年四月の文部科学省調査でも明らかになりました。

少人数学級の方が学力面と生活面で特に効果的であることが明らかに became ったのです。

- <文部科学省・少人数学級検討の動き>
- ・2月23日 中山文科相 「クラスの人数を減らす方向にいかない」と
 - ・3月29日 鳥居中教審会長、30人学級推進の答弁
 - ・5月10日 中教審義務教育特別部会 少人数学級推進を求める意見が相次ぐ。
 - ・5月19日 文科省、調査研究協力者会議設置 少人数学級検討へ。
 - ・6月1日 経済財政諮問会議 30人学級への非難相次ぐ。
 - ・6月21日 政府「骨太2005」「小さな政府」 公務員削減を重点課題に
 - ・8月23日 文科省・協力者会議「中間報告」 少人数学級編成への移行を見送り 編成権を区、市町村、学校に移す方向。

連続コラム 第4回

三回目の続きです。直木賞作家の奥田英朗さんは「仕事がおかしいと思ったら、働かざるを得ない。長き止める。長時間労働や成果主義が横行する職場ではなく、仲間が支え合う職場を作ることが大切」と労働者の健康相談に取り組み専門とアドバイスをしています。

組合ってなあーに

「遅れてもいいじゃないか」